

# Tumor suppressor activity and inactivation of galanin receptor type 2 by aberrant promoter methylation in head and neck cancer

メタデータ	言語: jpn 出版者: 浜松医科大学 公開日: 2017-06-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 三澤, 由幾 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/3195">http://hdl.handle.net/10271/3195</a>

## 論文審査の結果の要旨

ガラニンレセプター受容体 (GALR)は、ガラニンをリガンドとする G タンパク質共役受容体で、多くのシグナル経路の活性化に関係する。申請者のグループは *GALR1* の腫瘍に於けるメチル化、発現抑制、細胞増殖抑制作用などを報告したが、今回は *GALR2* について頭頸部がんで同様の作用があるかどうかを *in vitro* における増殖の評価、臨床検体におけるメチル化の測定およびその評価と予後との相関などを検討したものである。

その結果、*GALR2* のプロモーター部分のメチル化は無病生存期間の悪化と関連し、年齢、性、喫煙、飲酒、病気などを考慮した再発オッズ比は 3.12 (95% confidence interval [CI]1.16-8.43)で、さらにガラニン自体のメチル化もある例では 9.05 (CI, 1.76-4.65) まで有意に上昇した。また、*GALR2* を導入した頭頸部がん細胞にガラニンを投与すると細胞増殖抑制を認めた。

以上の結果から、ガラニン - GALR pathway が広汎に頭頸部がんの生物学的性格に関係しており、臨床的にも予後との関連ばかりでなく、治療標的としての可能性を示唆した点を、審査委員会では高く評価した。

以上により、本論文は博士(医学)の学位の授与にふさわしいと審査員全員一致で評価した。

論文審査担当者

主査 梶村 春彦

副査 北川 雅敏

副査 前川 真人